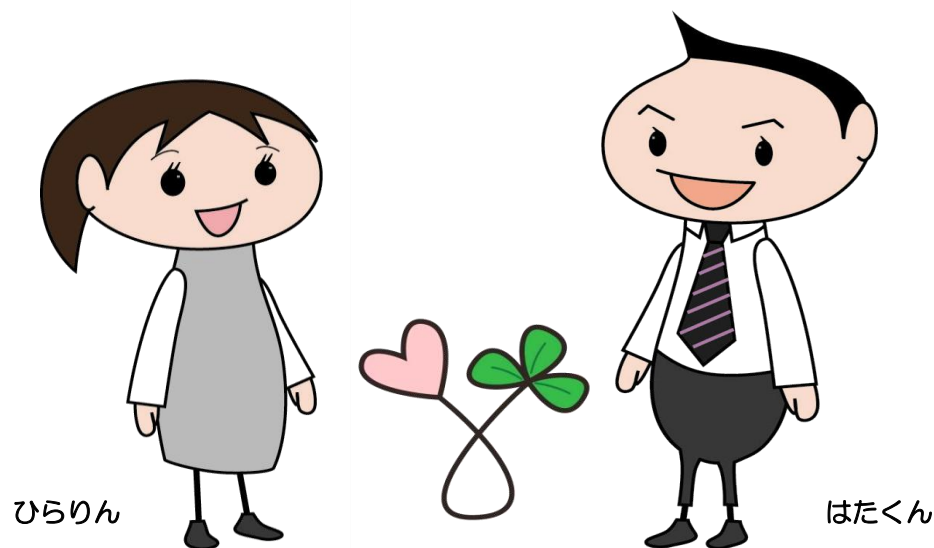


湘南西地区

地域・職域連携推進事業への取組み

～休職者への切れ目ない支援を実現するために～



神奈川県平塚保健福祉事務所
企画調整課 小野聡枝

湘南西地区地域・職域連携推進専門部会・ ワーキンググループの体制

(平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町)

湘南西地区保健医療福祉推進会議

地域・職域連携推進
専門部会

地域・職域連携推進
ワーキンググループ

保健医療福祉推進
専門部会

保健医療福祉推進
ワーキンググループ
(地域保健医療計画改定等)

湘南西地区

地域・職域連携推進ワーキンググループメンバー

構成員	神奈川県労働安全衛生協会平塚支部
	神奈川県労働安全衛生協会平塚支部・衛生部会(5事業所)
	平塚市保険年金課
	秦野市健康づくり課
	湘南地域県政総合センター商工労働部労働課
	平塚保健福祉事務所(保健福祉課・保健予防課)
	秦野保健福祉事務所(保健福祉課・保険予防課)
構成員以外のメンバー	平塚労働基準監督署
	平塚地域産業保健センター
	秦野市商工会議所
	労働衛生コンサルタント
	平塚市(健康課・くらし安全課)
スーパバイザー	国際医療福祉大学小田原保健医療学部

活動経過

	項目	事業内容	19年度	20年度	21年度	22年度
			準備	現状・課題等の整理・把握	課題等を踏まえた事業計画の立案、実施	事業計画の実施・展開
会議	準備会議	地域・職域連携推進に係る準備会議	○	○	○	○
	推進会議	保健・医療・福祉の重要事項協議		○	○	○
	専門部会	地域・職域連携推進に係る検討・協議		○	○	○
	ワーキング	地域保健・職域保健の担当者による活動		○	○	○
1	現状把握	既存の事業（地域・職域）の整理・把握	→			
		既存の職域保健事業の実施・参加				→
		関係機関・事業所インタビュー				→
		情報の整理・分析・課題の明確化				→
2	普及啓発	既存パンフレット等の配布				→
3	事業	研修会・講演会 *		○	○	○
		働く人の健康情報冊子 ～メンタルヘルス版～作成 *				→
		働く人の健康情報冊子～メンタルヘルス版～の活用、評価				→
		事業所における健康意識調査*				→
4	その他	神奈川県労務安全衛生協会平塚支部との連携		地区会に参加	地区会に参加	地区会に参加
		依頼健康教育				→

平成20～21年度地域・職域連携推進 ワーキンググループから見えてきた課題

区分	分野	全 体	メンタルヘルス（うつ病）対策	生活習慣病予防
職域保健から見た課題	中・大規模事業所	<ul style="list-style-type: none"> ○看護職・衛生管理者はいるが、マンパワー不足。 ○事業主の健康に関する意識が低い。 ○安全衛生委員会では、話題が「安全」に偏っている。 ○事業所によって健康に関する認識や関心に温度差がある。 ○過重労働。 ○地域保健の情報・サービスを知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メンタルヘルスの問題が非常に多い。 ○地域保健の情報・サービスを知らない。 ○メンタルヘルスが原因である休職者の増加。 ○「新型うつ」など、新しいタイプの問題もあり、担当者の知識が必要。 ○管理監督者の理解が低い。パワーハラスメントもある。 ○復職支援が困難。 ○受診できる医療機関との連携が困難。 ○産業医だけでは対応が難しく、精神科医との連携が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働安全衛生法の一般定期健康診断の実施率は、非常に高い。 ○生活習慣病予防対策の必要性は感じるが、勤務に影響がなければ優先度が低い（事業主、従業員）。 ○有所見者へのフォロー体制は、事業所によって差がある。 ○特定健診・保健指導は、保険者が実施するものなので、意識が低い。
	小規模事業所	<ul style="list-style-type: none"> ○看護職・衛生管理者がいない。 ○事業主は、経営に必死で、従業員の健康管理どころではない。 ○過重労働。 ○地域保健の情報・サービスを知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小規模事業所では、メンタルヘルスに問題がある従業員を抱えている余裕がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働安全衛生法の一般定期健康診断の実施率が低い。 ○国保については、特定健診・保健指導の体制はできたが、受診率が低い。
地域保健から見た課題		<ul style="list-style-type: none"> ○職域保健の制度・現状がわからない。 ○職域保健への健康に関する働きかけは、事業所のどの部門（総務、管理者、担当等）に働きかけたらよいかわからない。 ○事業所の大部分（約97%）が小規模事業所（50人未満）であるが、その現状・ニーズの把握が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○うつに対する職場、家族の理解が低い。 ○過労自殺が増加しており、働く人のうつ病対策に取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○退職後の健康管理を担う地域保健にとって、在職中の健康管理が健康寿命を延ばす鍵。

メンタルヘルス(うつ病)対策

事業所内で、メンタルヘルスに関する問題が非常に多い。対応に時間がかかる。

家族支援が困難。地域と役割分担をしたい。

メンタルヘルスが原因で休職する従業員が増加している。

小規模事業所では、メンタルヘルスに問題がある従業員を抱えている余裕がない。

受診できる医療機関を探すのが大変。

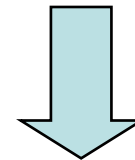
過労自殺が増加しており、働く人のうつ病対策に取り組みたい。



ワーキングで取り組む課題は・・・

- ◆生活習慣病予防対策（食事・運動）
- ◆メンタルヘルス対策・自殺予防対策
- ◆喫煙防止・禁煙対策
- ◆特定健診の受診率向上
- ◆がん検診の受診率増加

不景気の中、大規模事業所・小規模事業所にかかわらず大きな課題



働く人の健康情報冊子～メンタルヘルス版～作成

こんな冊子を作りたい(作って欲しい)

- ◆ 地域・職域保健の両方が使用できる。
- ◆ メンタルヘルス対策を支援する者が、**困った時に役に立つ情報**を盛り込みたい。
- ◆ 湘南西地区(平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町)の**地域に即した情報**が盛り込まれている。
- ◆ 使い勝手がよい。
- ◆ 親しみやすい。



具体的な冊子への要望

- ◆ 事業主に対して、健康について意識が高まるような、動機付けをしてほしい。
- ◆ 医療機関の受診のポイントを知りたい。
 - ・精神科・神経科、心療内科、神経内科の違いは？
 - ・診療所、精神科病院、総合病院、カウンセリング機関の違いは？
 - ・病院受診には紹介状がいるの？
- ◆ 湘南西地区だけでなく、近隣や県内でも働く人のメンタルヘルス対策で使える医療機関を載せてほしい。
- ◆ 相談・医療機関の場所が分かるマップがあるとよい。
- ◆ 夜間、休日の緊急時の相談先を知りたい。
- ◆ 福祉の制度について知りたい。

働く人の健康情報冊子 メンタルヘルス版

～湘南西地区の元気な職場づくりを応援します！～



湘南西地区保健医療福祉推進会議

地域・職域連携推進専門部会ワーキンググループ

(平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町)

平成22年3月

シンボルマーク・イメージキャラクター

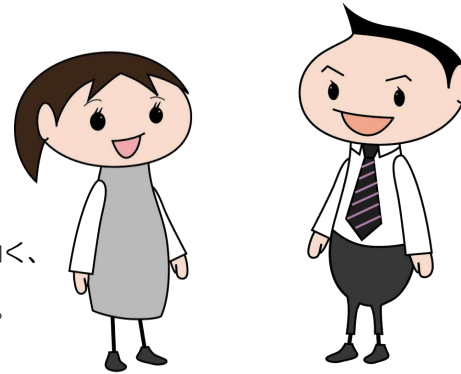
シンボルマーク



地域保健（ハート）、職域保健（クローバー）が手を結んで（連携して）、働く人の健康を守っていくことを表しています。
冊子の中の働く人のイラストの側には、このシンボルマークが寄り添っています。

イメージキャラクター

湘南西地区（平塚市・秦野市・伊勢原市・大磯町・二宮町）で働く、「ひら（平）りん」「はた（秦）くん」です。
みんなが、私たちのように笑顔で元気に働けるように応援します。



ひらりん

はたくん



目次

序章 働く人は職場の大きな財産

- 1 事業所がメンタルヘルス対策に取り組むわけ
- 2 予防と早めの対応が大切！
- 3 こんな状況で困ったら

I 章 基礎知識編

- 1 心の不調に早く気づくために
- 2 精神科関係の医療機関受診のポイント
- 3 精神保健福祉に関する制度の概要

II 章 資料編

- 1 相談機関情報
 - (1) 相談機関一覧表
 - (2) 個別相談機関情報
- 2 医療機関・カウンセリング機関情報
 - (1) 医療機関・カウンセリング機関一覧表
 - (2) 医療機関・カウンセリング機関マップ
 - (3) 個別医療機関・カウンセリング機関情報



こんな状況で困ったら・・・

対応ページ

本人への
対応を
知りたい

<事例1>部下がメンタルヘルス不調と思われるが、どう対応すればよいが？

<事例2>従業員のうつ病とは定説が違う、まわりの従業員が対応に振り回される、どうしたらよいが？

<事例3>看護職不在で人事担当者がメンタルヘルス不調者の相談にのっている、担当者の風合も悪くなりそう。

医療機関
の選択が
欲しい

<事例4>メンタルヘルス不調で早く医療機関につなげたいが希望の精神科クリニックは2週間待ち、他のクリニックを知りたい。

<事例5>アルコールの問題がある、精神科でも専門医を知りたい。

<事例6>有給休暇をとっている一人暮らしの従業員から「死にたい」と連絡があった、対応してくれる医療機関が分からない。

社内体制
を改善し
たい

<事例7>社内のメンタルヘルスに関する相談体制をつくりたい、どのようにすればよいが？

<事例8>社内の監督者や従業員への教育・研修会はどのようにしたらよいが？

<事例9>復職支援プログラムをどのようにしたらよいが？

<事例10>社内に復職支援プログラムはあるが、その前段階として外部機関を活用したりハビリ支援がほしい。

地域の
支援を
受けたい

<事例11>従業員が自営業を返して入院したが、具体的に回復し、病院から自宅に戻された、自宅療養となるが、単身者のため会社のサポートには限界がある。

<事例12>本人がうつ病、妻が家庭での対応に苦慮している、妻も休職が辛い、サポートがほしい。

福祉制度
を活用し
たい

<事例13>会社を休職し、日常生活も困難な状態である、精神障害者保健福祉手帳などの制度を知りたい。

心の不調に早く気づくために 7～9

相談機関一覧表 ①「悩み相談」 } 13～19
②「医療・相談機関の紹介」 }
③「病気や治療に関する相談」 }
個別相談機関情報 20～36

精神科関係の医療機関受診のポイント 10～13
医療機関・カウンセリング機関一覧表・マップ 38～43
個別医療機関・カウンセリング機関情報 44～81

精神科関係の医療機関受診のポイント 10～13
相談機関一覧表 ④「救急対応」 18～19
個別相談機関情報 20～36

相談機関一覧表 ⑤「職場の体制整備への支援」 } 18～19
⑥「研修会の開催・講師派遣」 }
個別相談機関情報 20～36

相談機関一覧表 ⑦「復職支援の実施」 18～19
個別相談機関情報 20～36
医療機関・カウンセリング機関一覧表・マップ 38～43
個別医療機関・カウンセリング機関情報 44～81

相談機関一覧表 ⑧「地域支援」 } 18～19
⑨「家族会・当事者の会の実施」 }
個別相談機関情報 20～36

相談機関一覧表 ⑩「福祉に関する相談」 18～19
精神保健福祉に関する制度の概要 14～16

相談機関一覧表(P18~19)

機関名	所在地	電話	不調者に対する支援							職場に対する支援			その他	掲載ページ	
			① 悩み相談	② 医療・相談機関の紹介	③ 病状や治療に関する相談	④ 地域支援	⑤ 救急対応	⑥ 家族会・当事者の会の会費の支援	⑦ 福祉に関する相談	⑧ 職場の体制整備への支援	⑨ 研修会の開催・講師派遣	⑩ 復職支援の実施			
神奈川産業保健推進センター	横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1 第6安田ビル3階	045-410-1160									○	○		・助成金の支給（小規模事業場産業保健活動支援促進助成金、自発的健康診断受診支援助成金） ・図書・ビデオ・教材等の貸し出し等	20
メンタルヘルス対策支援センター （神奈川産業保健推進センター内）	横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1 第6安田ビル3階 神奈川産業保健推進センター内	045-410-4761									○		○		21
平塚地域産業保健センター	平塚市東豊田448-3 （平塚市医師会内）	0463-52-0355	○								○	○			22
中央労働災害防止協会 神奈川県支部	横浜市中区相生町3-63 ヤマサビル3F （社）神奈川労務安全衛生協会内	045-662-5965									○	○	○	・各種セミナー、研修会等の情報提供 ・情報紙誌、冊子、リーフレット等の無料配布	23
横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター	横浜市港北区小机町3211 横浜労災病院9階	045-474-8111	○	○	○									・勤労者と家族の「心と身体の健康づくり」のための各種プログラム（カウンセリング、心理テスト、ストレスチェック、心身健康セミナーなど	24
関東労災病院 勤労者予防医療センター	川崎市中原区木月住吉町1-1	044-434-6337	○	○	○										25
神奈川障害者職業センター	相模原市桜台13-1	042-745-3131										○	○		26
平塚労働基準監督署	平塚市追分1-1	0463-32-4600												・解雇や労働条件の変更等に関する相談	27
神奈川県かながわ労働センター	横浜市中区寿町1-4 （かながわ労働プラザ内）	045-633-6110	○		○										28
神奈川県立かながわ女性センター	藤沢市江の島1-11-1	0466-27-2111	○		○										29
神奈川県かながわ労働センター湘南支所	平塚市西八幡1-3-1 神奈川県平塚合同庁舎別館	0463-22-2711	○												30
神奈川県精神保健福祉センター	横浜市港南区芹が谷2-5-2	045-821-8822	○	○	○			○							31
神奈川県商工業労働局労働部労政福祉課	横浜市中区日本大通1	045-210-5739									○	○			32
神奈川県平塚保健福祉事務所	平塚市豊原町6-21	0463-32-0130	○	○	○	○	○	○				○			33
神奈川県秦野保健福祉事務所	秦野市曾屋2-9-9	0463-82-1428	○	○	○	○	○					○			34
平塚市障がい福祉課	平塚市浅間町9-1	0463-23-1111 0463-21-8774(直)					○				○				14
秦野市障害福祉課	秦野市桜町1-3-2	0463-82-5111 0463-82-7616(直)					○				○				14
伊勢原市障害福祉課	伊勢原市田中348	0463-94-4711					○				○				14
大磯町保険福祉課 （障害福祉センター内）	中郡大磯町国府本郷1196	0463-61-4100 0463-73-4530(直)					○				○				14
二宮町高齢障がい課	中郡二宮町二宮961	0463-71-3311					○				○				14
(社)日本労働安全衛生コンサルタント会 神奈川県支部	横浜市中区寿町1-4 かながわ労働プラザ7階	045-633-3618									○	○			35
労働衛生コンサルタント事務所 Y・カノン	平塚市南原1-3-27	090-4823-3471									○	○			36

個別相談機関情報 (P 20～36)

神奈川県平塚保健福祉事務所

運営主体	神奈川県		
電 話	0463-32-0130	F A X	0463-35-4025
所在地	平塚市豊原町6-2-1		
交通機関と経路	J R 平塚駅北口⑧番乗り場から「秦野駅」行きで「追分」バス停下車		
ホームページ	http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/15/1577/index.html		
開所時間	8時30分～12時、13時～17時15分		
定休日	土・日曜、祝日、年末年始		
対象	平塚市・大磯町・二宮町に在住・在勤の方及びその家族・職場の方		
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ケースワーカーまたは保健師による電話相談、面接相談、家庭訪問 《無料》 【内容】こころの悩みや病気、ひきこもりや依存症などの問題等 【相談日時】開所時間中、随時対応可能。 ※面接・訪問希望の場合は、原則電話相談の上、予約が必要。 ●「こころの健康相談」（精神科医師による面接相談、家庭訪問） 《無料》 【内容】精神疾患の治療、アルコール依存症、ひきこもり、家族の対応等 【相談日時】月3回程度、13時30分～15時45分 (予約制、相談日は電話でご確認ください) ●精神疾患の急激な発症や症状が悪化した場合の相談（平日昼間のみ） 《無料》 【内容】入院または外来受診できる医療機関の紹介等 ※夜間・休日の場合は精神科救急医療情報窓口 ☎045-261-7070へ 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健家族教室 《無料》 【対象】精神疾患・精神障害がある方のご家族 【内容】病気や障害についての知識や情報の提供、家族同士の交流 【開催日時】年6回、13時30分～15時30分 (開催日等は電話でご確認ください) ●ひきこもり家族教室 《無料》 【対象】ひきこもりで悩んでいるご家族 【内容】ひきこもりに関する知識や情報の提供、家族同士の交流 【開催日時】年6回、14時～16時（開催日等は電話でご確認ください） ●働く人のメンタルヘルス研修会等、精神保健に関する研修等の開催 《無料》 		

医療機関・カウンセリング機関一覧表 (P38~41)

地域	番号	医療機関名	所在地	最寄り駅	電話	区分				診療科目							診療日	夜間 (18時以降)	予約制	カウンセ リング	デイケア	備考	掲載ページ
						診療所	病院	精神科	総合病院	精神科	心療内科	神経内科	その他	月	火	水							
平塚市	1	今岡クリニック	代官町	平塚駅徒歩1分	0463-22-5088	○				○	○	○	○	PM	○	○	金	初診	○		45		
	2	サテライトクリニック明石	明石町	平塚駅徒歩7分	0463-23-0262	○				○	○	○	○	○			月火水金	○	○		45		
	3	シーサイドクリニック湘南	代官町	平塚駅徒歩5分	0463-23-8868	○				○	○	○	○	○				○			46		
	4	湘南こころのクリニック	宝町	平塚駅徒歩2分	0463-22-5480	○				AM	AM	AM	AM	AM	○			初診			水・金曜の午後は往診	46	
	5	湘南福祉センター 児童養育相談所・診療所	宮の前	平塚駅徒歩7分	0463-21-1755	○				○	○	○	○	○				○	○			47	
	6	平塚西口診療所	錦町	平塚駅徒歩5分	0463-23-7986	○				○	○	○	○	○	(○)		月火水金	○	○		第1・3土曜のみ午後診療	47	
	7	ミサブクリニック	松風町	平塚駅徒歩7分	0463-22-5742	○				AM	AM	AM	AM	AM				○			月～金曜午後は往診	48	
	8	ゆうクリニック	宮の前	平塚駅徒歩7分	0463-20-5625	○				○	AM		AM	AM			火	○				48	
	9	研水会平塚病院	出縄	平塚・伊勢原駅バス	0463-32-0380		○			○	○	○	○	○				○		○		49	
	10	富士見台病院	土屋	平塚駅バス25分	0463-58-0186			○		AM	AM	AM	AM	AM	AM			再診	○			50	
	11	平塚井澤病院	追分	平塚駅バス10分	0463-32-1950													○			当院他科入院中の患者のみ	51	
	12	平塚市民病院	南原	平塚駅バス15分	0463-32-0015					AM		AM						○				51	
秦野市	13	駅前神経内科 メンタルヘルス研究所	尾尻	秦野駅徒歩2分	0463-85-0900	○				○	AM		○			火金土		○			52		
	14	鶴巻メンタルクリニック	松原町	渋沢駅徒歩5分	0463-87-6282	○				○	○		○	AM		月金	初診			アルコール自助グループあり	52		
	15	東海メンタルクリニック	南矢名	東海大前駅徒歩1分	0463-69-5559	○				○	○	AM	○	AM			初診				53		
	16	はたの渋沢クリニック	曲松	渋沢駅南口すぐ	0463-89-3181	○				○	○		○	AM	AM			○				53	
	17	丹沢病院	堀山下	渋沢駅バス10分	0463-88-2455		○			AM	○	AM	AM	AM	AM			○	○	○		54	
	18	秦野厚生病院	南矢名	東海大前駅徒歩5分	0463-77-1108			○		AM	AM	AM	AM	AM	AM			○		○		54	
	19	秦野病院	三屋	秦野・渋沢駅バス10分	0463-75-0032			○		○	○	○	○	○	○			再診		○	ナイトケア、リワーク デイケアあり	55	
	20	みくるべ病院	三廻部	渋沢駅送迎車15分	0463-88-0266			○		AM	AM	AM	AM	AM	AM			初診	○			56	
	21	国立病院機構 神奈川病院	落合	秦野駅バス15分	0463-81-1771							(○)	(○)					○			原則水・金曜診療(日時 は月により異なる)	56	
伊勢原市	22	佐藤メンタルクリニック	桜台	伊勢原駅徒歩10分	0463-94-2870	○				○	○	AM	○	○	○	火水金土日	初診	○			57		
	23	サテライトクリニック伊勢原	伊勢原	伊勢原駅徒歩3分	0463-96-1916	○				○	○	○	○	AM		月火水金	○	○			57		
	24	伊勢原協同病院	桜台	伊勢原駅徒歩5分	0463-94-2111					○	(PM)							○	○		第1・3・5月曜午後診療	58	
厚木市・海老名市(診療所)	25	厚木こころのクリニック	旭町	本厚木駅徒歩3分	046-226-7070	○				○	○	○	○	○			○	○	○		58		
	26	厚木循環器・内科クリニック	泉町	本厚木駅徒歩1分	046-227-3015	○				○	○	○	○	AM		火木金	初診			初診は水曜午後のみ	59		
	27	厚木ハートケアクリニック	下荻野	本厚木駅バス15分	046-243-5533	○				○	○	○	AM	○	AM			○				59	
	28	金子クリニック	旭町	本厚木駅徒歩2分	046-220-5656	○				○	○	○	○	○		月火水金	初診				60		
	29	クリニック原	愛甲	愛甲石田駅徒歩3分	046-250-6995	○				○	○	○	○	AM		月火水金	初診				60		
	30	栄クリニック	旭町	本厚木駅徒歩3分	046-220-6800	○				○	○	○	○	○				○				61	
	31	診療所「本厚木駅前こころの 相談室」	旭町	本厚木駅徒歩5分	046-229-7830	○				○	○	○	○	○		火	○	○				61	
	32	相州メンタルクリニック	泉町	本厚木駅徒歩3分	046-227-3600	○				○	○	○	○	○		月～金	初診	○	○	ナイトケアあり		62	
	33	本厚木増田クリニック	旭町	本厚木駅徒歩4分	046-228-2395	○				○	○	○	○	AM			初診					62	
	34	海老名メンタルクリニック	海老名市	海老名駅徒歩7分	046-234-6866	○				○		○	AM	○	AM			初診	○			63	
	35	相州ピナシティメンタル クリニック	海老名市	海老名駅徒歩3分	046-233-1700	○				○	○	○	○	○		水	初診	○				63	

個別医療機関・カウンセリング機関情報(P44～81)

10 富士見台病院		開設年月	昭和42年12月							
所在地	平塚市土屋1645	電話	0463-58-0186							
交通機関と経路	平塚駅北口からバス25分「田代」バス停からすぐ、 秦野駅南口からバス25分「土屋橋」バス停から徒歩15分、平日のみ平塚駅から送迎バス（送迎各4便）あり	F A X	0463-58-1340							
院長氏名	義和田有	他医師名	外来担当医6名							
		女性医師	あり・なし							
指定医証	あり・なし	生活保護指定	あり・なし							
		自立支援医療指定	あり・なし							
診療科目	精神科									
診療時間		月	火	水	木	金	土	日	備考	
	午前	9:00～11:30	○	○	○	○	○	△	△	*1 13:00～19:00
	午後	13:00～17:00	△	△	△	△	△	△	△	
	予約制（あり）（再診）・なし									土曜初診可
診療対象分野	統合失調症、気分（感情）障害、高齢者精神障害、認知症、神経症等									
カウンセリング	あり（職種： / 料金 円 ）・なし									
	保険適応：あり・なし				特色：					
保健福祉スタッフ	精神保健福祉士、作業療法士（月～金曜9:00～17:00、土曜9:00～12:00）									
ホームページ	http://www.fujimidai-hospital.jp/									
備考	<p>【特色】デイケア：月～金曜10:00～16:00、作業療法可、訪問看護あり</p> <p>【入院ベッド数】精神：305床</p> <p>【紹介時注意事項】曜日ごとに初診担当の医師が決まっているため、同じ医師を希望する場合は、再診時に曜日が変わります。</p> <p>入院希望の方は、必ず事前に電話で相談してください。</p>									

マップ

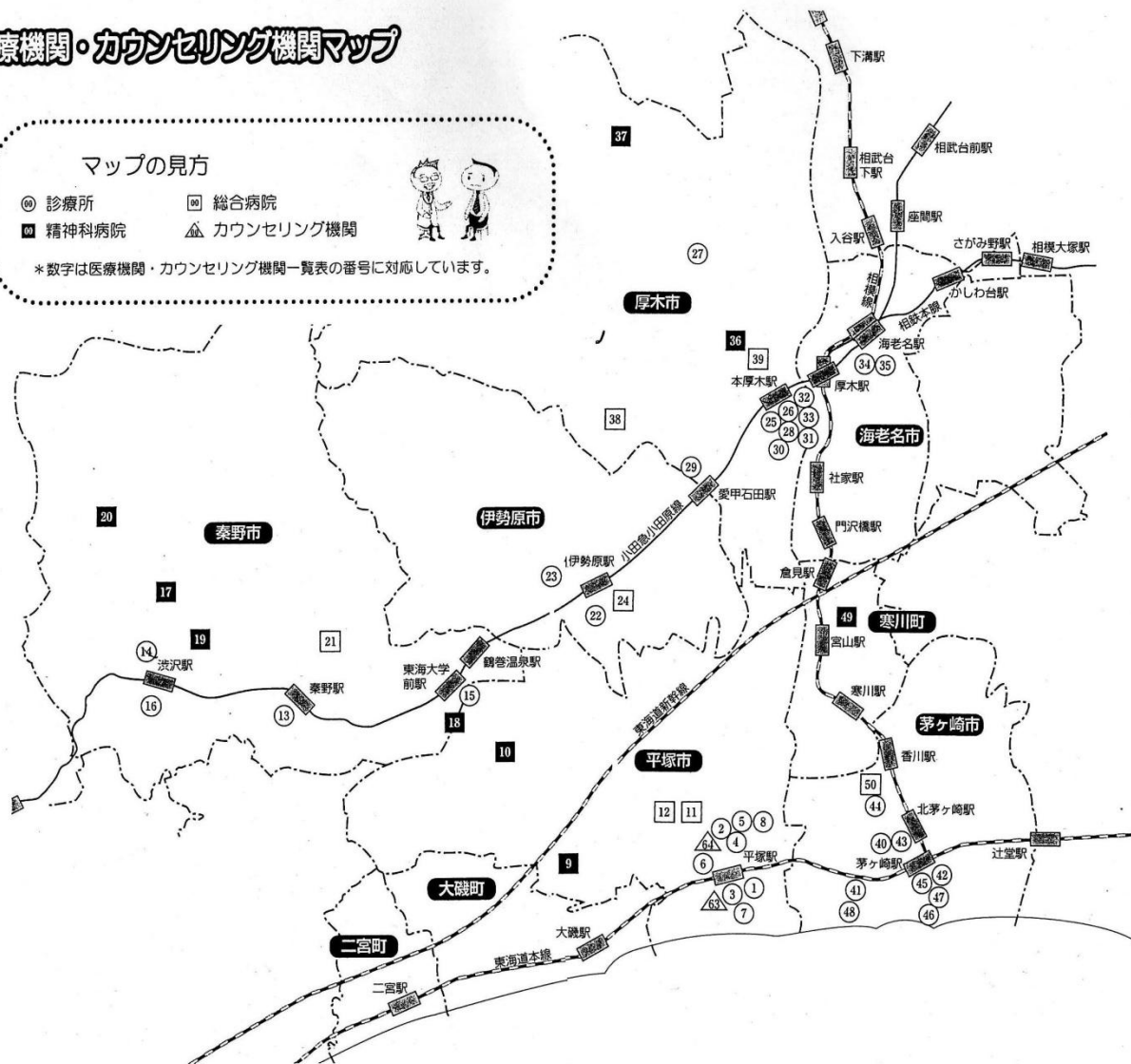
医療機関・カウンセリング機関マップ

マップの見方

- ⑩ 診療所
- ⑨ 総合病院
- ⑧ 精神科病院
- △ カウンセリング機関



* 数字は医療機関・カウンセリング機関一覧表の番号に対応しています。



U-14

U-14

冊子を有効に活用する

<冊子の活用>

冊子を有効に活用し、地域・職域連携を推進する。

<配布条件>

原則、地域・職域連携推進事業、冊子活用方法の説明

を受けた方に配布

<説明を行う場所>

(1)地域・職域連携推進研修会

(2)労務安全衛生協会地区会

(3)関係機関(地域産業保健センター、労働基準監督署、商工会議所・商工会等)による事業所の集まり

(4)その他

冊子を使用して役立った項目・場面

- ◆ 相談者への受診勧奨の場面（精神科に対しては敷居が高い。やっと受診するつもりになった時、すぐに情報提供できることは大切と感じた）。
- ◆ 相談者へ情報提供した場面で、詳しい情報提供ができ好感触であった。
- ◆ 救急医療体制は、いざという時に役立つ。
- ◆ 医療機関・カウンセリング機関一覧表は、検索する時にとっても便利。

冊子への意見・要望

- ◆ 定期的にメンテナンスをし、継続して活用できるようにしてほしい。
- ◆ 神奈川県全体の情報が入ると良い。
- ◆ 事業所に数冊欲しい。



冊子配布者へのアンケートより

評価



- ◆ ワーキンググループの活動
 - ・メンバーが熱心であった(キーパーソンの存在)。
 - ・メンバーで地域の課題、目標を共有した。
 - ・地域・職域の両方に関心があり、優先順位の高い課題に取り組んだ。
 - ・ワーキングの意見を極力冊子に盛り込むよう努力した。
 - ・冊子が完成することで達成感が持てた。
- ◆ 課題の一つである小規模事業所への連携の手段となる。
- ◆ 冊子作成に向けた関係づくりが、日常業務での連携につながった。



★ 事例1：緊急時の受診

＜事業所からの依頼＞

メンタル不調者を事業所から自宅に一人で帰すのは心配。受診させたい。（夕方～夜間帯の相談が多い）

＜保健福祉事務所のかかわり＞

医療機関と受診調整

＜外部資源の活用＞

精神科病院MSW：受診調整



★ 事例2: 休職中の支援

＜事業所からの依頼＞

休職期間中を復職に向けて有意義に活用したい

＜保健福祉事務所のかかわり＞

①復職に向けての不安・ストレスの軽減

②社会資源の紹介

＜外部資源の活用＞

①障がい者地域生活相談支援センター
不安・ストレスの軽減

②診療所・病院

復職支援プログラムの活用

★ 事例検討会（地域・職域連携推進研修会）

<目的>

働く人のメンタルヘルス不調者に対して、地域・職域が連携して支援できる策を考える。

<参加者>

スーパーバイザー：産業医（A事業所常勤産業医）

職域：事業所の事業主・衛生管理者・看護職・人事担当者、
労働衛生コンサルタント、労働基準監督署等

地域：県保健福祉事務所、市町の保健師・ケースワーカー・
事務職、障害者地域生活相談支援センター、
精神科病院MSW、社会復帰施設

<効果>

- ・職域側が地域の社会資源、活用方法を知った。
- ・地域側が働く人のメンタルヘルスの現状・課題を知った。
- ・地域と職域が連携して働く人のメンタルヘルス対策に取り組むことの有効性をお互いに理解した。

まとめ

湘南西地区における地域保健・職域保健が共有した課題に取り組み、そのプロセス、成果から連携を推進し、今後も元気な職場づくりに取り組んでいきたい。

連携することは地域・職域のコネクションルートを増やすこと＝ネットワークの構築

(平成21年6月8日地域・職域連携推進専門部会 荒木田美香子先生資料より)

